

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		芝浦工業大学		設置者名	学校法人 芝浦工業大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
工学部	機械工学科	100人	中一種免(数学)	昭和29年度	123人	3人	3人	0人
			高一種免(数学)	昭和29年度			3人	
			高一種免(工業)	昭和29年度			2人	
	機械機能工学科	100人	中一種免(数学)	昭和41年度	109人	0人	0人	0人
			高一種免(数学)	昭和41年度			0人	
			高一種免(工業)	昭和41年度			0人	
	材料工学科	90人	中一種免(数学)	昭和34年度	114人	3人	3人	0人
			高一種免(数学)	昭和34年度			3人	
			高一種免(工業)	昭和34年度			0人	
	応用化学科	90人	中一種免(理科)	昭和29年度	101人	11人	10人	1人
			高一種免(理科)	昭和29年度			11人	
			高一種免(工業)	昭和29年度			1人	
	電気工学科	90人	中一種免(数学)	昭和29年度	103人	3人	2人	0人
			高一種免(数学)	昭和29年度			2人	
			高一種免(工業)	昭和29年度			2人	
	通信工学科	90人	中一種免(数学)	昭和41年度	118人	0人	0人	0人
			高一種免(数学)	昭和41年度			0人	
			高一種免(工業)	昭和41年度			0人	
			高一種免(情報)	平成21年度				
	電子工学科	90人	中一種免(数学)	昭和34年度	96人	2人	0人	0人
			高一種免(数学)	昭和34年度			1人	
			高一種免(工業)	昭和34年度			1人	
	土木工学科	90人	中一種免(数学)	昭和29年度	107人	4人	3人	1人
			高一種免(数学)	昭和29年度			3人	
高一種免(工業)			昭和29年度	2人				
建築学科	100人	中一種免(数学)	昭和29年度	141人	5人	4人	1人	
		高一種免(数学)	昭和29年度			4人		
		高一種免(工業)	昭和29年度			2人		
建築工学科	100人	中一種免(数学)	昭和41年度	124人	2人	0人	0人	
		高一種免(数学)	昭和41年度			0人		
		高一種免(工業)	昭和41年度			2人		
情報工学科	100人	中一種免(数学)	昭和41年度	111人	3人	1人	0人	
		高一種免(数学)	昭和41年度			1人		
		高一種免(工業)	昭和41年度			2人		
		高一種免(情報)	平成21年度					

システム 理工学部	電子情報システム学科	100人	中一種免(数学)	平成21年度	123人			
			高一種免(数学)	平成21年度				
			高一種免(工業)	平成21年度				
			高一種免(情報)	平成21年度				
	機械制御システム学科	80人	中一種免(数学)	平成21年度	79人			
			高一種免(数学)	平成21年度				
			高一種免(工業)	平成21年度				
	環境システム学科	80人	中一種免(数学)	平成21年度	88人			
			高一種免(数学)	平成21年度				
			高一種免(工業)	平成21年度				
	生命科学科	100人	中一種免(数学)	平成21年度				
			高一種免(数学)	平成21年度				
			中一種免(理科)	平成21年度				
			高一種免(理科)	平成21年度				
	数理科学科	70人	高一種免(工業)	平成21年度				
			中一種免(数学)	平成21年度				
高一種免(数学)			平成21年度					
			高一種免(情報)	平成21年度				
入学定員合計		1,470人	合計		1,537人	36人	68人	3人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年11月7日（土）

実地視察大学：芝浦工業大学

実地視察委員：郷通子委員、宮崎英憲委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 2学部16学科で教員養成を行っている。
- ・ 教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。

<講評>

- ・ 理科教育に関する施設・設備が整っているため、今後は平成18年7月の中央教育審議会答申を踏まえて、教員養成の質の向上に努めてほしい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ 建学の理念として「我等の生活の中に科学の解け込んだ現代文化の諸相を教材とし、社会の一員たる個人に社会的活動の意義を体得させる特色ある教育を行い、以って社会に貢献する」という実学志向の理念を有し、教員養成も大学の基本理念と伝統のもとに、社会において信頼と尊敬を獲得しうる教師であるとともに工学専門教育を基礎に数理科学に優れた、豊かな教育的実践能力の育成を理念としている。
- ・ 今後は、全学的な協力支援体制のもとに、各学部の特質を生かした教員養成の取り組みを社会的使命の一つとして、その責任を果たしたいと考えている。
- ・ 教職課程は次の事項に重点を置いている。
 - ① 専門教育の修得に必要な基礎学力とより幅の広い人間教育に重点化した共通教養教育や学際・境界領域分野のシステム思考・方法・総合化能力の修得カリキュラムなどにより、基礎学力を身につけた、創造力豊かな教育的人材の養成
 - ② 優れた専門的知識と技能を基礎に、個性豊かな実践的指導力を育てるため、豊富な演習や実験、実習、体験型の総合学習など多様な教育指導により、「生きる力」を育てる学校現場が抱える課題に対応した実践的指導力の育成
 - ③ 人間の成長や発達にかかわる教職の特質を自覚し、学生生活を通して教職への愛着や誇りを涵養し、教育や生徒指導のあり方などに関する適切な理解を促し、進んでボランティア活動や社会貢献を志向する態度の繁用

<講評>

- ・ 教員養成に対する理念・構想が示されているため、今後はさらに明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織に対する一層の充実を図ってほしい。
- ・ 大宮キャンパスと豊洲キャンパスの連携のため、キャリアセンターの充実を図ってほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<状況>

- ・教職に関する科目の履修時期について、一部の科目が、科目の設置趣旨と整合していない。
- ・法令上定められている含めることが必要な事項が、授業科目によっては明確に示されていないシラバスが見られる。

<講評>

- ・履修時期については、適切な時期に学生が履修できるよう、履修モデルを構築してカリキュラムを編成すること。
- ・法令で定める事項が各授業科目に含められているかどうか含めて、授業科目内容を全体的に確認すること。
- ・授業内容が学校現場を意識したものとなっており。評価できる、今後は、さらに積極的な創意工夫を図ってほしい。
- ・授業科目「生徒・進路指導」について、学校現場経験者による授業など、実際の学校現場に即した内容となるよう改めてほしい。
- ・各教科の指導法科目について、一般的な内容が網羅的に授業内容で含まれるよう、テキストや参考書などの再検討も含めて、授業内容を見直してほしい。

■ 教育実習などの取組状況

<状況>

- ・教育実習校の確保は、原則として学生に任せている。
- ・受講資格は、原則として教職に関する科目をすべて履修していることとしている。

<講評>

- ・教育実習については、実習校や近隣の教育委員会との連携協力を図るなど、その円滑な実施に努め、母校以外の実習校の開拓を大学として支援できる仕組みを構築すること。
- ・介護等体験の事前ガイダンスについて、説明だけで終わらないようにし、実習前に特別支援などの実際の現場を体験させるようにしてほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・以下の事業を大学として、実施（又は推奨）している。
- ①「理科支援員」事業への連携・協力
 - ②学童クラブ（地域貢献・小学生支援事業）
 - ③放課後補習教室
 - ④学校指導サポーター（理科支援・学習指導補助員）
 - ⑤授業科目「総合演習」での学生と地元地域社会との連携調査研究活動
 - ⑥「数学教育実践研究会」での現場教員に対する教職課程の教育実践の紹介報告
 - ⑦地域の中学校・高等学校の教育活動支援（県立学校支援ボランティア）を推奨
 - ⑧アシスタントティーチャー及び小学校体育授業サポーター等を推奨
 - ⑨オープンキャンパス時に、教職体験として地域の中学、高校生に対する模擬授業

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・教員免許取得希望者を対象とした入学時ガイダンスを1年次に行い、その後は教育実習に向けて、履修チェックシートをもとに個別の履修指導を行っている。
- ・3年次以降は、専門領域に追求を目的とした履修指導を行うなど、計画的に行っている。
- ・学生の教職課程上の悩みなどに対応するため、教職相談室を開設している。

<講評>

- ・学生の履修が困難にならないよう、計画的履修をするように指導してほしい。
- ・今後は教員の免許状増加となるように、例えばキャリア支援室の充実など、教職指導体制の充実を図ってほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教職課程担当者の会議「教職会議」を月1回開催し、教職課程専任教員と学生課教職事務担当者との合同会議、教職課程の運営の問題とともに履修学生等の個別的な指導の情報交換を行っている。

<講評>

- ・全学的な組織を整備して、教員の質と教員免許状の増加を図ってほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<状況>

- ・教職に関する科目の図書等の冊数は、1, 327冊となっている。
- ・コンピュータ等は、1, 848台備えられている。
- ・理科設備は充実している。

<講評>

- ・情報機器類及び理科の実験等の設備等が非常に整備されている。
- ・例えば各教科の指導法の図書や、一般教育学に関する学術誌及び一般誌の数を増加するなど、図書館の充実を図ってほしい。
- ・生命科学科が新設されたのであれば、例えば生き物に関する設備の充実させるなど、今まで以上に生命分野に関する設備の充実を図ってほしい。